

2025年5月15日

各 位

株式会社サイバーエージェント
代表取締役 代表執行役員 社長 藤田 晋
(コード番号: 4751 東証プライム市場)
問合せ先 IR・SR 室長 宮川 園子
連絡先 03-5459-0227

**(訂正・数値データ訂正)「2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2023年4月26日付で開示いたしました「2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、以下のとおりお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正の内容及び理由につきましては、別途、本日(2025年5月15日)付「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月26日

東

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所
 コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 四半期報告書提出予定日 2023年4月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	362,872	0.3	16,473	△63.4	16,834	△62.7	2,039	△87.8	7,269	△71.1
2022年9月期第2四半期	361,903	22.9	44,959	36.8	45,147	36.9	16,651	22.1	25,164	38.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年9月期第2四半期	4.03		3.65	
2022年9月期第2四半期	32.93		31.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	426,283	221,064	137,683	32.3
2022年9月期	381,933	221,245	142,595	37.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末		第2四半期末	第3四半期末	期末
	円	銭	円	銭	円
2022年9月期	—		0.00	—	14.00
2023年9月期	—		0.00	—	14.00
2023年9月期(予想)				—	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	720,000	1.4	40,000 ～50,000	△40.8 ～△26.0	40,000 ～50,000	△41.1 ～△26.4	15,000 ～20,000	△34.5 ～△12.7	29.64 ～39.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変動を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期2Q	506,073,600株	2022年9月期	505,924,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	1,004株	2022年9月期	1,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年9月期2Q	505,988,611株	2022年9月期2Q	505,534,912株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資をしつつ、当第2四半期連結累計期間における売上高は362,872百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は16,473百万円（前年同期比63.4%減）、経常利益は16,834百万円（前年同期比62.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,039百万円（前年同期比87.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」、「Ameba」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」と周辺事業が増収を牽引し、売上高は67,006百万円（前年同期比27.9%増）、第1四半期の「FIFA ワールドカップ」の配信等により、営業損益は10,605百万円の損失計上（前年同期間6,013百万円の損失計上）となりました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

新規開拓が貢献したことにより堅調に推移し、売上高は195,462百万円（前年同期比5.9%増）、営業損益は9,529百万円の利益計上（前年同期比25.9%減）となりました。

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Colorful Palette、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

主力タイトルの周年記念が奏功しつつも、売上高は103,061百万円（前年同期比19.1%減）、営業損益は20,414百万円の利益計上（前年同期比47.0%減）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は1,217百万円（前年同期比63.5%減）、営業損益は356百万円の利益計上（前年同期比84.5%減）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)リアルゲイト、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は14,775百万円（前年同期比13.9%増）、営業損益は296百万円の利益計上（前年同期比18.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は426,283百万円（前連結会計年度末比44,350百万円の増加）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

負債は205,219百万円（前連結会計年度末比44,531百万円の増加）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

純資産は221,064百万円（前連結会計年度末比181百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少及び非支配株主持分の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて17,246百万円増加し、185,281百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは14,080百万円の増加（前年同期間は10,887百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは12,012百万円の減少（前年同期間は10,371百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは15,410百万円の増加（前年同期間は4,587百万円の減少）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行及び償還によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月26日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,907	183,260
受取手形、売掛金及び契約資産	71,139	89,116
棚卸資産	4,262	5,728
営業投資有価証券	16,457	18,674
その他	34,109	30,078
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	291,840	326,823
固定資産		
有形固定資産	18,974	22,730
無形固定資産		
のれん	4,843	4,685
その他	17,210	20,346
無形固定資産合計	22,054	25,032
投資その他の資産		
その他	49,059	51,637
貸倒引当金	△17	△14
投資その他の資産合計	49,041	51,622
固定資産合計	90,070	99,386
繰延資産	21	73
資産合計	381,933	426,283
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,212	69,078
短期借入金	2,380	5,642
未払法人税等	5,036	9,812
その他	63,289	49,566
流動負債合計	129,919	134,099
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,102	60,649
長期借入金	3,750	3,055
勤続慰労引当金	2,787	3,155
資産除去債務	2,250	2,407
その他	1,877	1,851
固定負債合計	30,768	71,119
負債合計	160,687	205,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,239	7,313
資本剰余金	11,636	11,483
利益剰余金	117,534	112,492
自己株式	△1	△1
株主資本合計	136,409	131,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,887	6,312
為替換算調整勘定	298	84
その他の包括利益累計額合計	6,185	6,396
新株予約権	1,747	1,882
非支配株主持分	76,903	81,498
純資産合計	221,245	221,064
負債純資産合計	381,933	426,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	361,903	362,872
売上原価	244,887	262,042
売上総利益	117,015	100,829
販売費及び一般管理費	72,056	84,355
営業利益	44,959	16,473
営業外収益		
受取利息	69	92
受取配当金	158	148
持分法による投資利益	—	170
受取賃貸料	5	237
その他	217	70
営業外収益合計	450	720
営業外費用		
支払利息	27	25
減価償却費	—	82
為替差損	—	112
その他	234	139
営業外費用合計	261	359
経常利益	45,147	16,834
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,000
その他	234	389
特別利益合計	234	1,389
特別損失		
減損損失	1,642	554
その他	135	776
特別損失合計	1,777	1,331
税金等調整前四半期純利益	43,605	16,892
法人税、住民税及び事業税	13,551	10,028
法人税等調整額	2,217	△26
法人税等合計	15,769	10,002
四半期純利益	27,835	6,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,183	4,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,651	2,039

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	27,835	6,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,733	603
為替換算調整勘定	55	△84
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△139
その他の包括利益合計	△2,670	380
四半期包括利益	25,164	7,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,800	2,250
非支配株主に係る四半期包括利益	11,363	5,018

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	43,605	16,892
減価償却費	4,931	3,749
減損損失	1,642	554
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△1,000
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△5,681	△17,045
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	122	△1,889
棚卸資産の増減額 (△は増加)	567	△1,530
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,406	9,902
前受金の増減額 (△は減少)	3,386	1,739
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,916	3,203
その他	△6,600	1,944
小計	39,463	16,520
利息及び配当金の受取額	173	162
利息の支払額	△27	△25
法人税等の支払額	△28,722	△2,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,887	14,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△4,355	△4,394
無形固定資産の取得による支出	△4,296	△5,562
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	—	1,000
その他	△1,718	△3,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,371	△12,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	993	3,262
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	40,535
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△5,554	△7,075
その他	△26	△1,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,587	15,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	△232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,940	17,246
現金及び現金同等物の期首残高	184,082	168,035
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	180,070	185,281

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度をグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益(注2)	47,398	172,776	127,134	3,337	11,257	361,903	—	361,903
(1) 外部顧客への売上高	47,398	172,776	127,134	3,337	11,257	361,903	—	361,903
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,008	11,721	208	—	1,714	18,652	△18,652	—
計	52,406	184,497	127,342	3,337	12,971	380,555	△18,652	361,903
セグメント利益又は損失(△)	△6,013	12,859	38,529	2,306	361	48,043	△3,084	44,959

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,084百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益(注2)	62,697	183,384	102,858	1,217	12,713	362,872	—	362,872
(1) 外部顧客への売上高	62,697	183,384	102,858	1,217	12,713	362,872	—	362,872
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,308	12,077	202	—	2,062	18,651	△18,651	—
計	67,006	195,462	103,061	1,217	14,775	381,523	△18,651	362,872
セグメント利益又は損失(△)	△10,605	9,529	20,414	356	296	19,991	△3,518	16,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,518百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。